



7月



カルクマ [ショウガ科 ウコン属]

東南アジア原産の植物です。日本では観賞用として親しまれている、ショウガやウコンの仲間です。花弁に見える部分は苞といえます。実際の花は苞の中に隠れるようにして咲きます。花色はピンクや白、紫などがあり、暑さに強くとても花もちの良いお花です。

ジニア [キク科 ヒャクニチソウ属]

メキシコ原産で、日本には江戸時代に伝わりました。夏から秋にかけて、長い期間花を咲かせ続けることから「百日草」とも呼ばれ、花壇苗として親しまれてきました。戦後、品種改良が盛んに行われ、現在では豊富な花色と様々な咲き方の種類があります。



ヒメガマ [ガマ科 ガマ属]

ガマは日本各地の川辺や沼などに群生している多年草です。夏になると茎の先に花穂をつけます。この花穂は熟すと綿のようになってモコモコと飛び散ります。ガマの仲間にはコガマ、ヒメガマがありますが、今日は花穂がやや小さいヒメガマを飾ります。

シペラス [カヤツリグサ科 シペラス属]

世界中に分布している植物で、700種類あると言われています。原産は北アフリカですが、日本に自生している種類もあります。草丈は最大で2mにもなり、先端の花軸が花火のようで涼しげです。古代エジプトでは世界最古の紙の原料として使われました。